

ADWAYS Business Report
For The Year Ended December 31, 2024

ADWAYS

2024年12月期の業績と変化について

代表取締役社長 山田 翔 Sho Yamada

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年は、経済環境や世界情勢が大きく変動した1年となりました。当社グループの売上の中心を占めるインターネット広告市場は、こうした状況下でも成長を維持しており、とりわけ動画広告やリテールメディア分野の成長が際立ち始めています。市場は拡大基調を続けており、2023年には3兆3,330億円*の市場規模になるなど、日本経済におけるプレゼンスを拡大し続けています。

しかし、このような状況の中、当社グループの2024年12月期の業績は、取扱高は546億15百万円、売上高は126億84百万円、営業利益は1億66百万円、経常利益は5億3百万円、親会社株主に帰属する当期純損益は▲4億73百万円と、前年と比べ減収減益となりました。

2024年4月30日には、2023年12月期から2025年12月期までを対象期間とする中期経営計画の対象期間及び目標の見直しを決議し、株主の皆様へその内容と背景をお知らせさせていただきました。

一部の事業においては厳しい局面が続いておりますが、今後は業績の回復に向け尽力することはもちろん、「広告のあるべき姿」を追求し、社会に新たな価値を届ける広告事業を生み出すことで、中期経営計画の達成に向けて邁進してまいります。

特に、当社グループが展開する全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」では、ユーザーに新たな広告体験を提供し、

ブランド広告主の需要を的確に捉えたことで、前年比126%と大きな成長を遂げることができました。こうした成果や知見を基に、主力事業全体の指針や戦略の見直しを図る所存です。

当社グループが考える「広告のあるべき姿」の実現とは、商業的な役割を超え、社会に有益な価値を提供する広告の姿を指します。現在、市場の一部ではユーザーを欺くような価値のない広告が蔓延し、情報の非対称性を悪用したビジネスが横行しています。こうした状況は、広告の信頼を損ねるだけでなく「インターネット空間の健全性」を脅かす要因にもなっています。私たちは、広告を“出会う価値のある情報”であるべきと捉え、AIをはじめとする先端技術の活用や、ユーザー体験を重視した広告配信を通じて、業界全体の健全化と社会への貢献に積極的に取り組み、持続可能なインターネット環境の構築と、広告の真価を広く認識される世界の実現を目指してまいります。

当社グループでは、パーパスである“全世界に「なにこれ すげー こんなのはじめて」を届け、すべての人の可能性をひろげる「人儲け」を実現する。”を軸に、協業パートナー様、お取引先様などと想いを一つにし、より社会から信頼される企業になれるよう努め、株主の皆様へ利益を還元できるよう、引き続き邁進してまいります。

当社グループの取り組みと指針についてご理解いただき、株主の皆様におかれましては、今後も変わらないご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

*出典:「令和6年版情報通信白書」(総務省) <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/nd213220.html>



アドウェイズグループの 中期経営計画

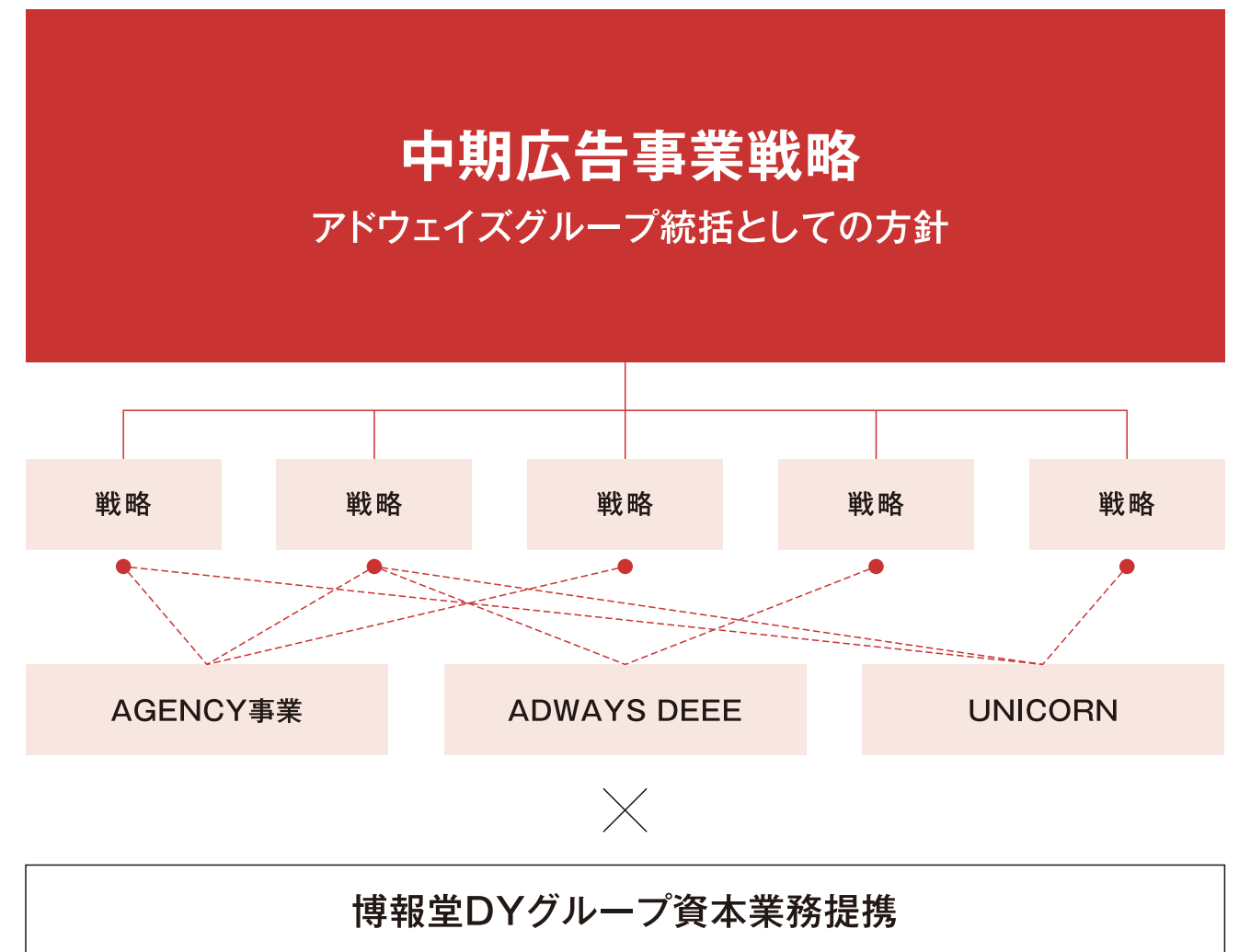
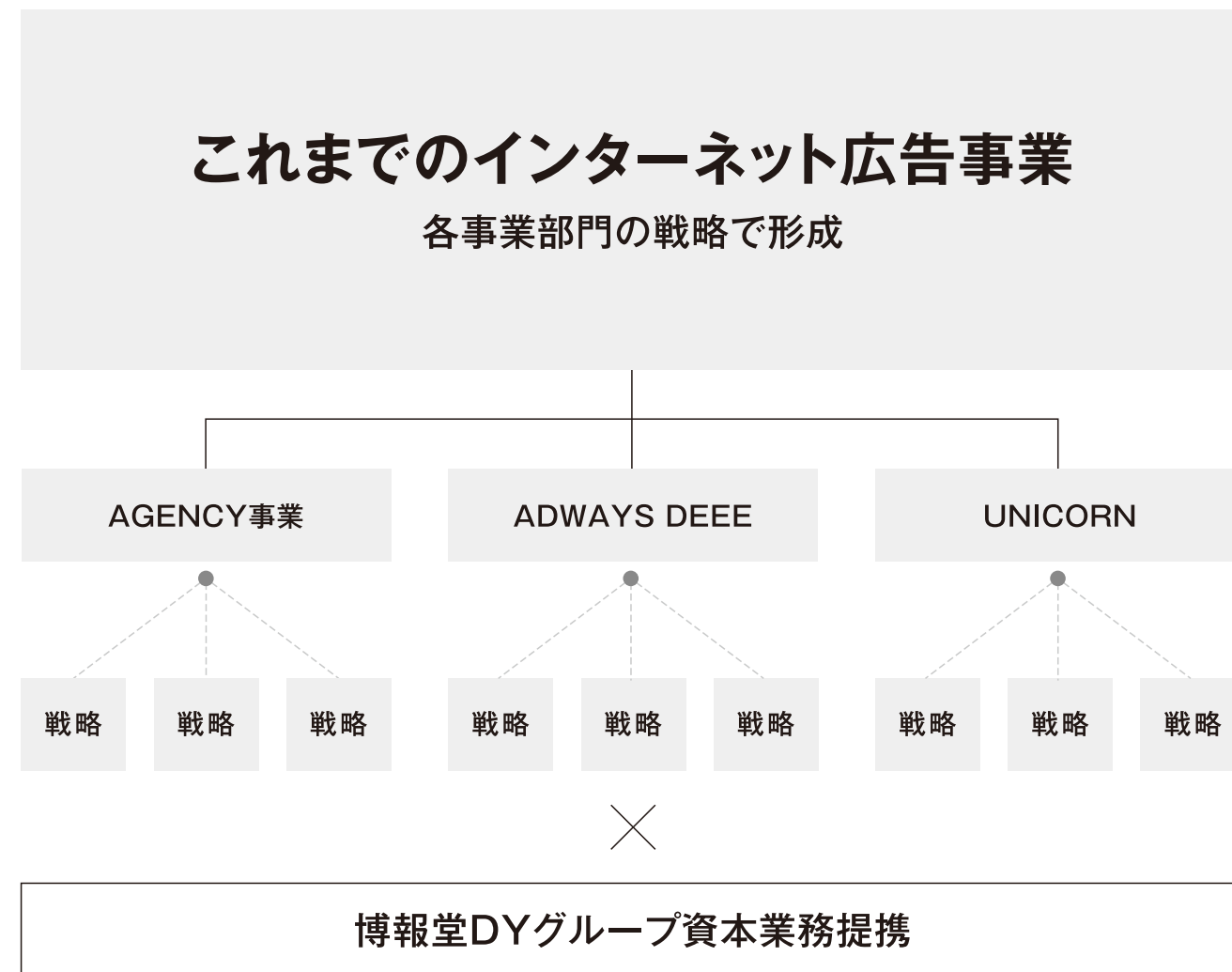
期間:2023年12月期-2027年12月期

指標:2027年12月期営業利益20億円

当社グループでは、“全世界に「なにこれ すげー こんなのはじめて」を届け、すべての人の可能性をひろげる「人儲け」を実現する。”をパーパスに掲げ、全てのステークホルダーの成長に寄与すべく、事業を推進しております。

また、昨年には、中期経営計画の達成と更なる事業拡大に向け、中期広告事業戦略となる「PROJECT / SUNRISE」を策定いたしました。

これまで、インターネット広告事業におきましては、それぞれの独立性を優先し、事業の機動性を担保しながらシェア拡大や市場への価値創造を推進してまいりましたが、「PROJECT / SUNRISE」では、当社グループのケイパビリティを掛け合わせ、インターネット広告事業の領域拡大を図ると共に、本質的な広告価値の追求、テクノロジーを駆使した新たな広告表現の提供に尽力してまいります。



中期広告事業戦略 「PROJECT / SUNRISE」

中期広告事業戦略「PROJECT / SUNRISE」では、当社グループのケイバビリティを掛け合わせた3つの主軸戦略を掲げ、中期経営計画の達成と更なる事業拡大に向け、取り組んでまいります。

顧客にとっての本質的な広告価値の実現に向けたソリューションの提供により、独自価値を持つビジネスを創造するとともに、人が働くことの価値を最大化することで従業員一人あたりの粗利生産性をあげ、利益率の高い事業の創出を図ってまいります。

また、広告市場や技術革新、消費者の生活・行動など、昨今の潮流から「来たるべき」を予測し、当社グループの考える「あるべき未来」を具現化するための様々な施策に対し、投資を行ってまいります。



主軸戦略 01: 広告事業総力戦



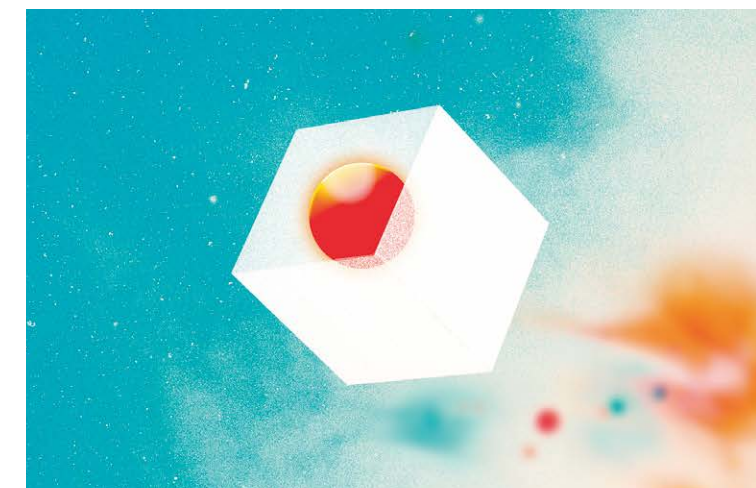
「市場の成長率」×「規模」から強化業種を選定し、新規業種の開拓を強化。顧客に対し、事業統合型のフォーメーションによる業種特化型での最適なプランニングとプロダクトソリューションを提供。

主軸戦略 02: 人の可能性の解放



人が働くことの価値を最大化し、粗利生産性を高める取り組みを推進。
来たるべき未来の予測に加え、顧客のニーズを叶えることのできる独自性が高く価値のある事業を創造。

主軸戦略 03: あるべき未来の具現化



当社グループの考える「あるべき未来」を具現化するため、テクノロジーを駆使した新たな広告表現やメディアの提供、広告評価の多様化に向けた最適解の確立などのテーマに対し検討を行う。

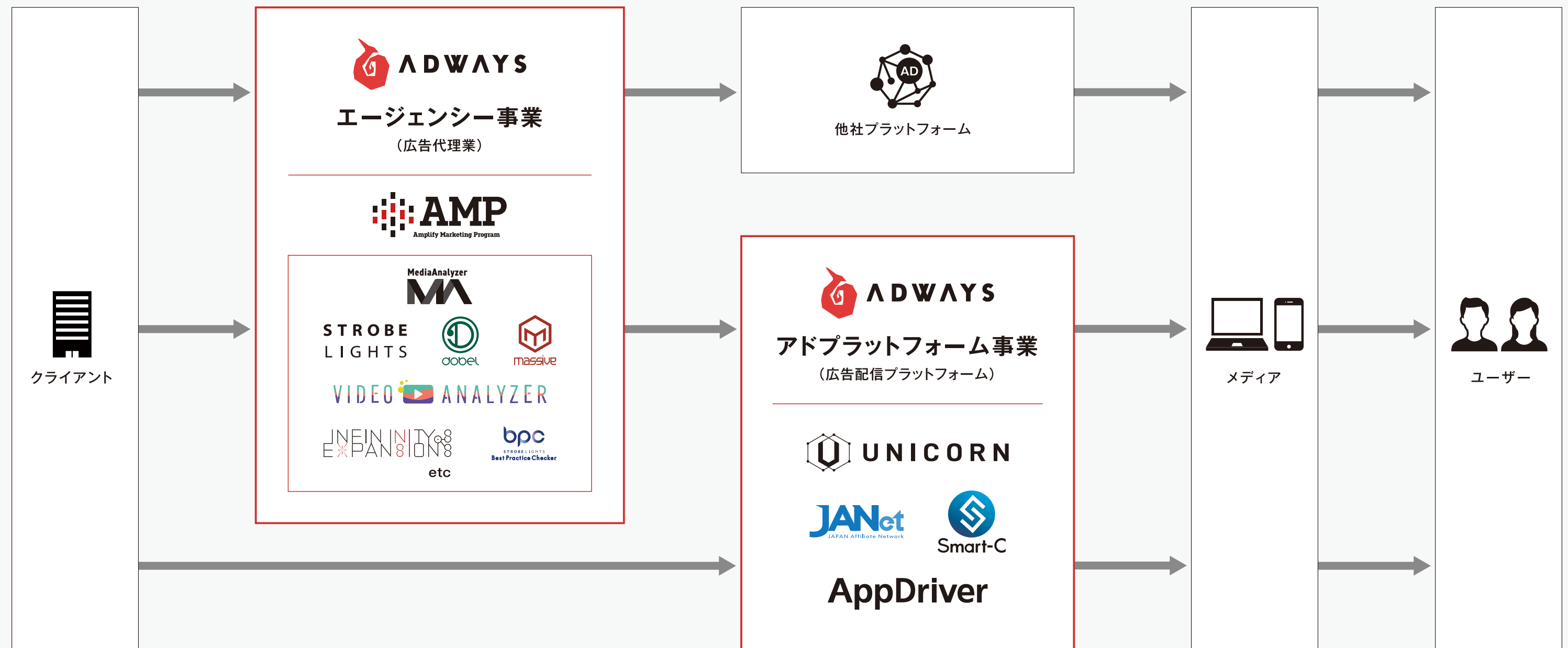
Business Overview

事業概況

アドウェイズグループで展開する広告事業

アドウェイズグループは、本質的な価値に向き合い事業を展開しています

当社グループでは、日々さまざまな業種のクライアントのデジタルマーケティングにおける課題と向き合い、課題抽出と解決のため、幅広い事業に取り組んでおります。

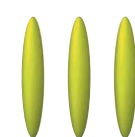


エージェンシー事業(国内)

顧客の事業成長ドライバーとして、
マーケティングDXを実現

博報堂DYグループとの戦略的パートナーシップ
両グループのノウハウ、強みを掛け合わせ、
より強固な協力体制を構築

Hakuhodo DY holdings

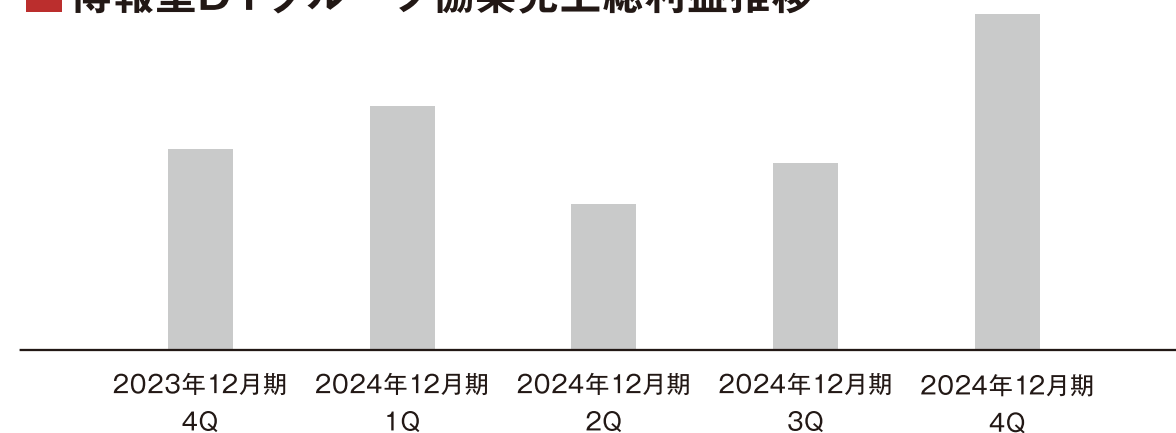


Hakuhodo DY
media partners



ADWAYS

■ 博報堂DYグループ協業売上総利益推移



売上総利益は、前年同四半期比で増加

エージェンシー事業では、オフライン&オンラインの統合プランニングによる、包括的なマーケティング支援に取り組んでいます。

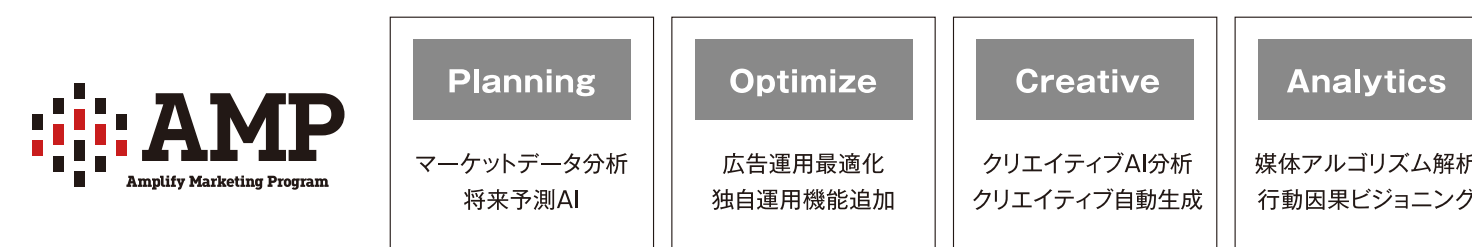
ブランド広告主へのアプローチや、“テレビとデジタルの統合プランニング”による“フルチャネル^{※1}”“フルファネル^{※2}”を意識した、より効果的なマーケティングプランを実行するため、広告という枠組みに囚われず、マーケティングコンサルタントとして、あらゆる課題解決に取り組めます。また、「人」による高い運用力・創造力とAIを活用した高度な「マーケティングテクノロジー」を融合し、本質的な広告価値を生み出すことで、クライアントの事業成長を包括的かつ効率的に支援いたします。

※1) フルチャネル:集客するための媒体、経路などを広く活用する事。

※2) フルファネル:消費者の商品に対する認知や検討、購入(利用)など多くの行動に対応する事。

広告効果を最大化する運用力とクリエイティブ力、
アドウェイズ独自の開発ソリューションを強みとした
包括的なマーケティング支援

■ 次世代のデジタル広告効果最大化ソリューション「AMPシリーズ」



■ 「株式会社ADWAYS EN」 事業開始

国内の地方・中小企業に対する
デジタル広告を中心とした課題
解決・マーケティング支援事業



ADWAYS
エージェンシー事業

プロダクトソリューション・
ノウハウの共有



広告効果最大化を実現する独自ソリューションの提供で
クライアントの事業成長に寄与

エージェンシー事業(海外)

国境を越えたマーケティング支援

当社グループでは、2003年の中国進出を皮切りにアジアを中心にグローバル展開を推進しています。

中国では、ブランド広告主への包括的なデジタルマーケティング、アプリ開発者へのアプリマーケティング、ライブコマース事業など、幅広くお客様のニーズに合わせ事業成長を支援しております。

台湾では、マーケティング戦略やコンテンツの提案、デジタルメディアやインフルエンサーなどのプランニングと運用、CRM運営など、トータルソリューションを提供しております。

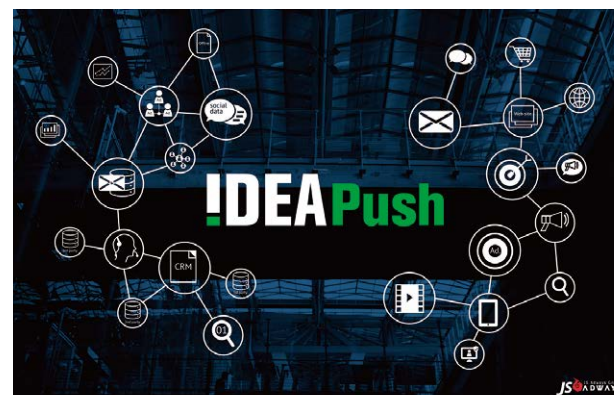
台湾

独自ソリューションと包括的なマーケティング戦略で、クライアントの事業成長に貢献

LINE Taiwan

「Display Solutions Sales Partner」において最上位且つ唯一の「Emerald」に認定

LINE公式アカウント内広告配信支援ソリューション「IDEA Push」等の取り組みが評価され、「LINE Family Club」の「The Best Sales Partner」へ5年連続の選出に加え、「LINE Biz-Solutions Partner」では「クリエイティブパートナー」に認定。



台湾ファミリーマートと提携し、リテールメディア・ネットワーク領域に参入

RMN^{※3}を活用したリアルタイム入札に対応する店頭サイネージ型広告「Family ADs pDOOH」の提供を開始。台湾全土で4,200以上の店舗を展開する台湾ファミリーマートの60%以上の店舗が、「Family ADs pDOOH」を導入した店頭サイネージを設置。

※3) RMN:リテールメディア・ネットワークの略。オンサイト広告、インスタ広告、オフサイト広告の3つのリテールメディアを束ねたネットワーク型広告メディアプラットフォームサービス



中国

中国国内外のステークホルダーへ健全で持続的な広告価値を提供

上海広告協会が定める

「デジタル広告認証商標三級企業」に認定

デジタル広告における信頼性や透明性の向上、健全で持続的な広告提供への取り組みや実績が評価され、上海広告協会が定める「デジタル広告認証商標三級企業」に認定。

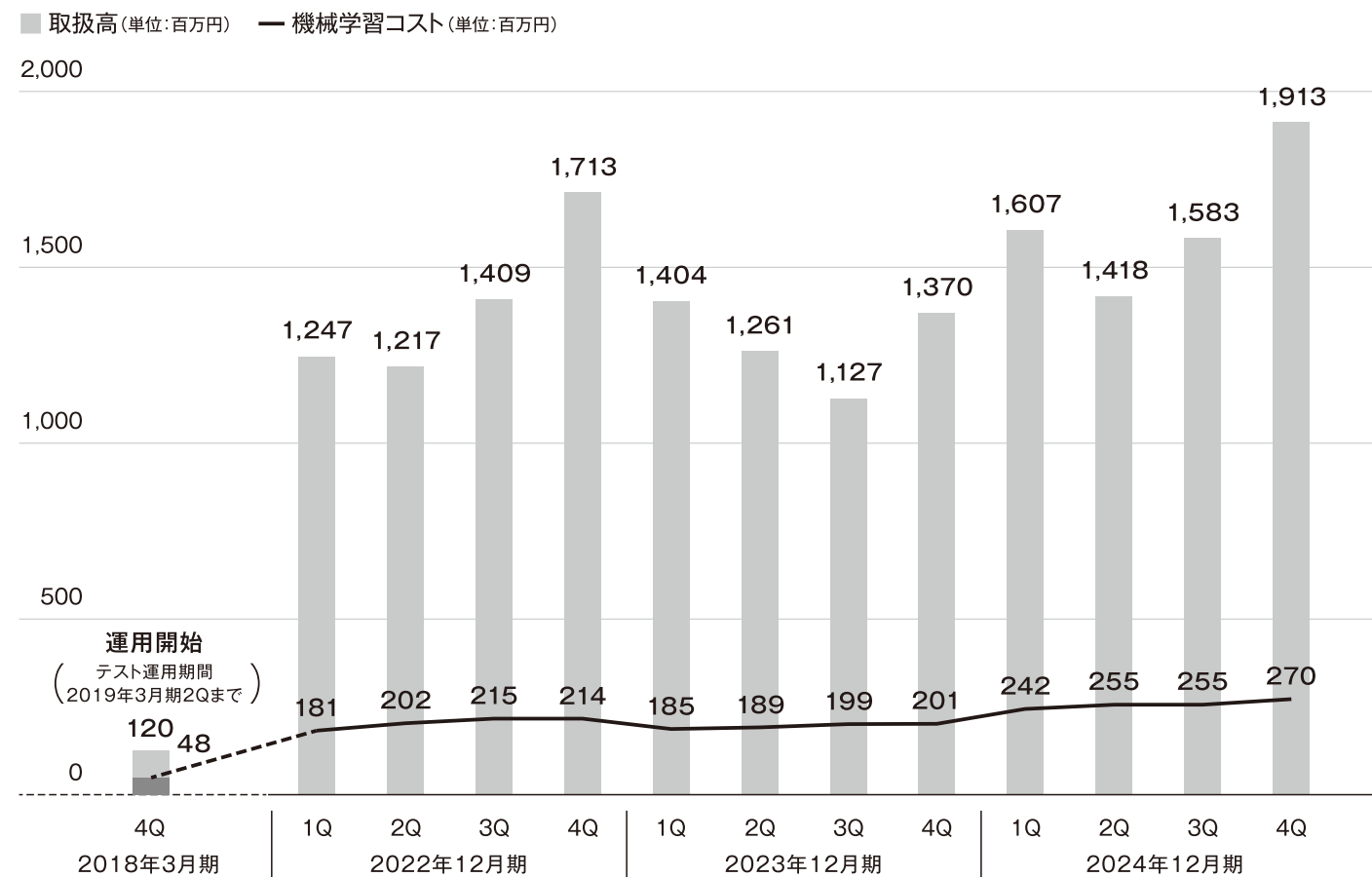


アドプラットフォーム事業



チャンネル × 提供価値 × アカウムの3軸で立体的に拡大

UNICORN 取扱高/機械学習コスト推移



前四半期比及び前年同四半期比(139%と大幅伸長)ともに大きく成長し、過去最高値となる

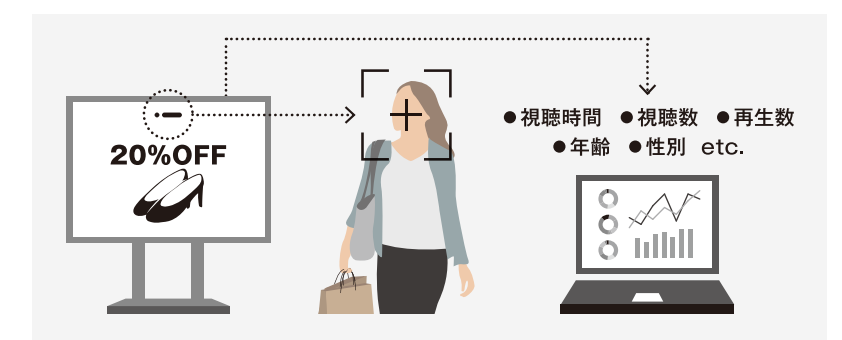
全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」の2024年12月期第4四半期の取扱高は、19億13百万円と四半期で過去最高となり、前年同四半期比で139%と大幅に伸長。当社グループの主力サービスとして成長を続けています。Apple Search Ads | Todayタブ、検索タブ、検索結果、プロダクトページでの自動最適化配信に加え、コネクテッドTVやOTT*4等のサービスとの連携の他、YouTubeへの広告配信メニューの提供を開始し、配信面においても拡大を続けています。UNICORNでは、クライアントのビジネス拡大を支援すると共に、ユーザーへセレンディビティ*5のある出会いを提供し、ステークホルダー全方位に価値のある本質的な広告を実現してまいります。

*4) OTT(Over The Top):インターネット回線を通して行われるコンテンツ配信サービスの総称
*5) セレンディビティ:探しているものとは別の価値があるものを偶然見つけること

「本来あるべき広告体験」を実現するソリューションの開発・提供

■ Parsempo Ltd.と協業し、リテールメディア向け広告配信プラットフォーム及び統合型デジタルサイネージの提供を開始

プライバシーに準拠したリアルタイムでの映像解析から得られたデータに基づき広告配信が可能に。店舗POSデータとの連携で、広告効果を可視化し、データドリブンでのマーケティング施策支援を実現。



■ 初の海外現地法人をタイ・バンコクに設立

東南アジアをはじめとする海外への事業展開を本格化させ、マーケティング支援が可能な地域を拡大し、世界に通用するプロダクト開発を推進。



「全ての人にとって“本質的で価値ある広告”を」デジタルマーケティング業界の指標となるべく事業を推進

アドプラットフォーム事業



アフィリエイト広告を新たな概念へアップデート

ADWAYS DEEEは、新しい広告表現や広告効果の最大化などテクノロジーを駆使することで、ステークホルダーの持続成長をサポートするプロダクトとして、国内最大級のアフィリエイトネットワーク「JANet」、「Smart-C」をはじめ、国内最大級のオファークールネットワーク「AppDriver」等を提供しています。

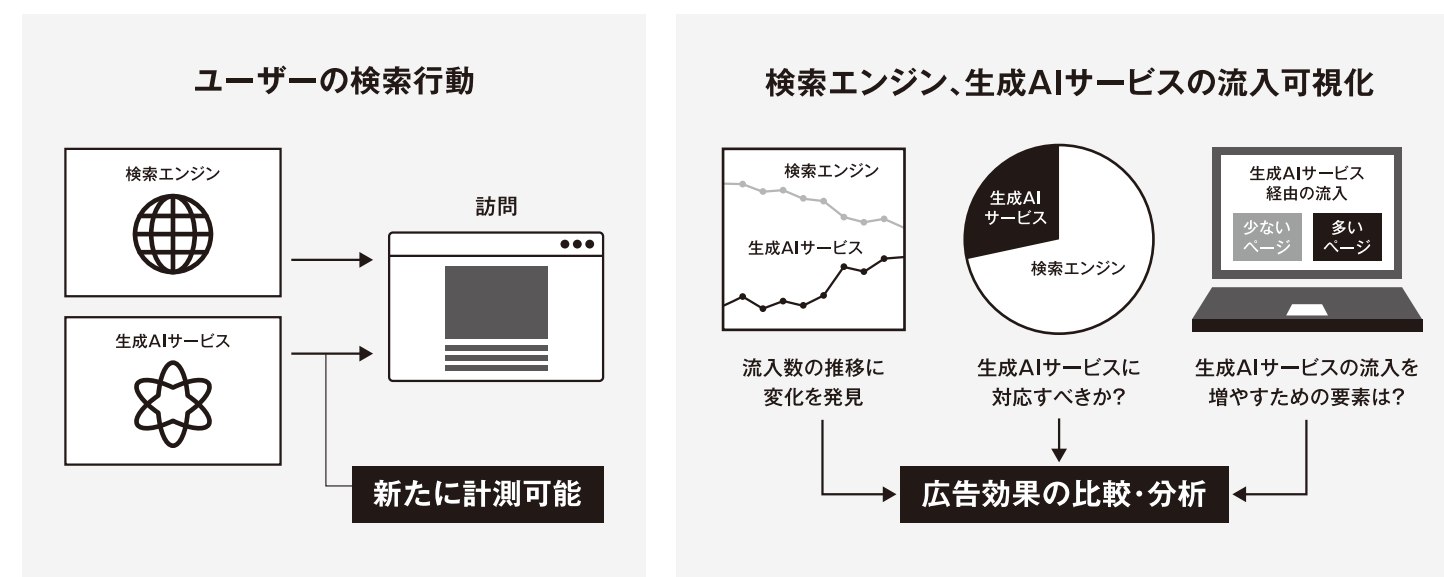
また、2024年12月には、BASE株式会社と「BASE Partners」のオフィシャルパートナー契約を締結。BASE株式会社が運営するネットショップ作成サービス「BASE」と連携し、日本の「一次産業」の生産者支援に特化した、ネットショップ開設から配送までを一貫して行う、地域支援サービスの提供を開始いたしました。

ADWAYS DEEEでは、「つくろう。良かったがめぐる世界を。」をミッションに、ステークホルダーの想像を超えた喜びやワクワクを生み出し、アフィリエイト広告を次の世代へ進化させてまいります。



生成AIサービス経由の流入データを分析・可視化する新機能が追加

アフィリエイト広告の分析・可視化・環境改善を効果的に進める「JANEEE Advertising Report」へ、検索エンジン、生成AIサービスの流入経路毎に広告効果の比較、分析を行うことが可能な新機能が追加。



AppDriver

ユーザー体験を妨げないプッシュ型リワード広告「プッシュリワード」の提供を開始

アプリに必要なインセンティブを最適なタイミングでユーザーに提案する最新のリワード広告フォーマット。UNICORNとの連携が完了したことで、ブランド広告主を中心とした動画リワード広告を、ユーザーニーズに沿って効果的に配信。



その他事業(広告以外)

広告事業以外での新たなソリューション、 事業の多角化を推進

当社グループでは、すべてのステークホルダーの成長を支援するため、より良い環境や社会の実現に向け、インターネット広告以外でも様々な事業を展開しています。パーパス“全世界に「なにこれ すげー こんなのはじめて」を届け、全ての人の可能性をひろげる「人儲け」を実現する。”に向け、新たな体験、価値の提供を進めてまいります。

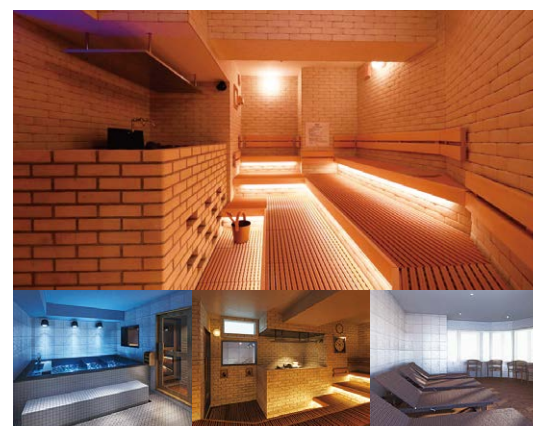
Vtuber Business

エンターテイメントでの
新しい体験を提供



New Contents Business

会員制定額サウナ



最新技術を用いた店舗運営で、現在都内4店舗を展開

喫煙者のためのカフェスペース



快適な喫煙環境提供により、ルール違反のない社会へ貢献

「サウナファーストな滞在」を
実現する新感覚ホテル



第1号店として「オールドルーキーサウナホテル木更津金田」を2025年4月24日に開業予定

Financial Highlights

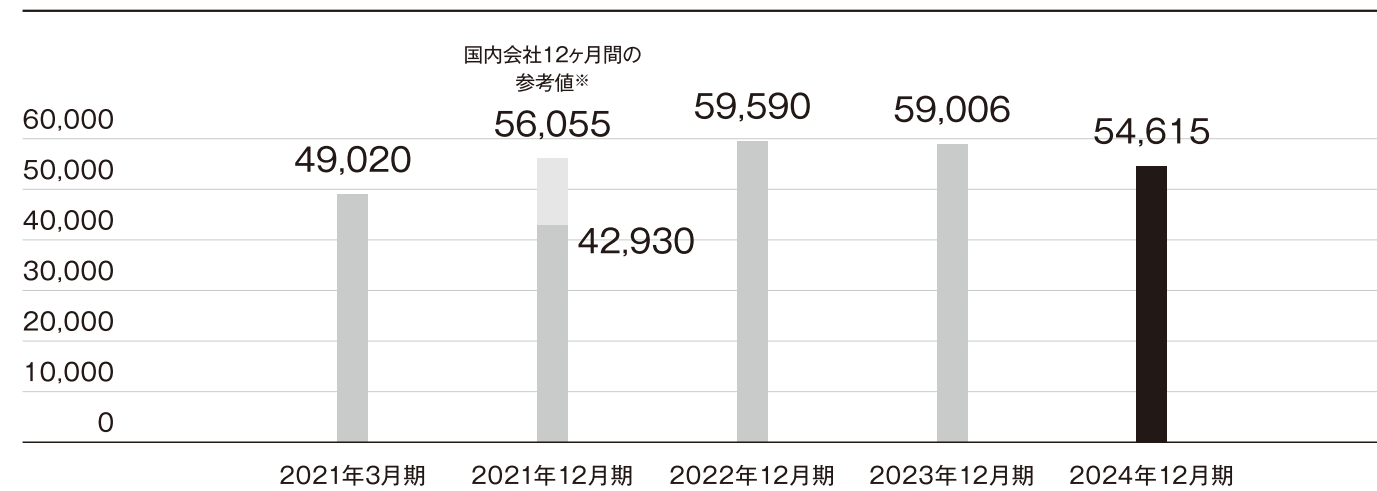
業績・財務ハイライト

連結損益計算書の概要

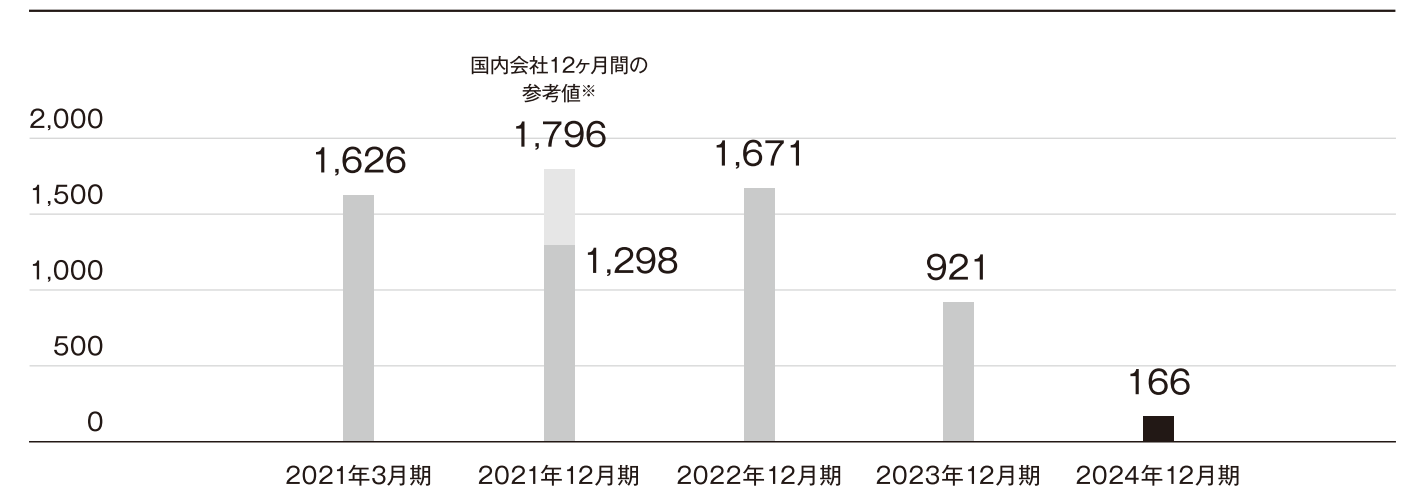
	前期 2023年12月期	当期 2024年12月期	増減率(額)
取扱高 (単位:百万円)	59,006	54,615	▲ 7.4%
営業利益 (単位:百万円)	921	166	▲ 81.9%
経常利益 (単位:百万円)	1,313	503	▲ 61.6%
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)	966	▲ 473	—
1株当たり当期純利益 (単位:円)	25.07	▲ 12.11	—

※親会社株主に帰属する当期純利益及び、1株当たり当期純利益はマイナスのため増減率(額)は記載しておりません。

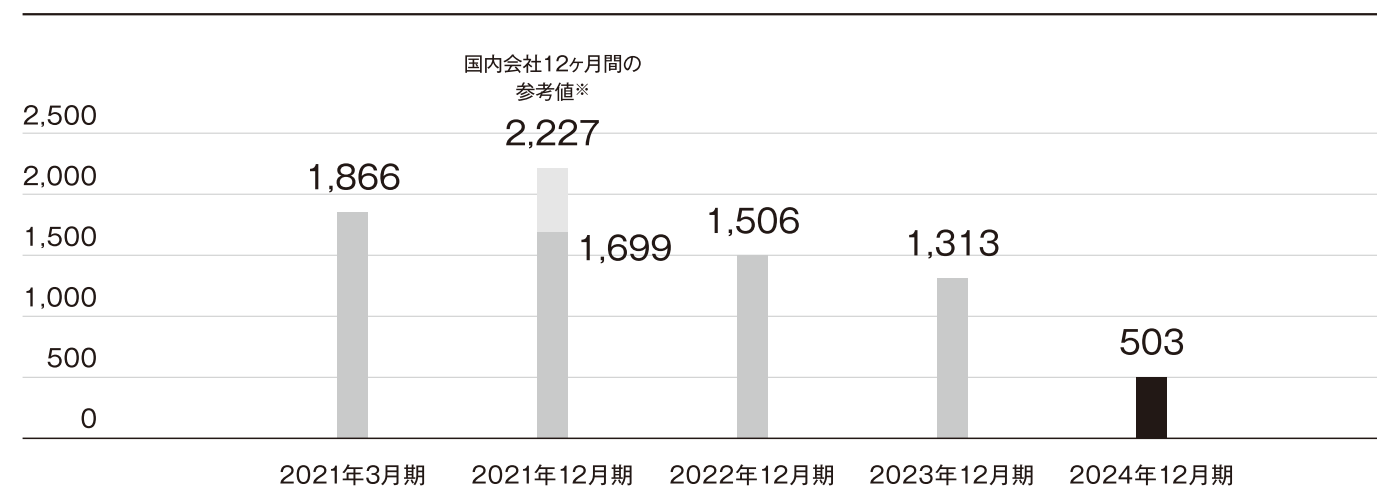
取扱高 (単位:百万円)



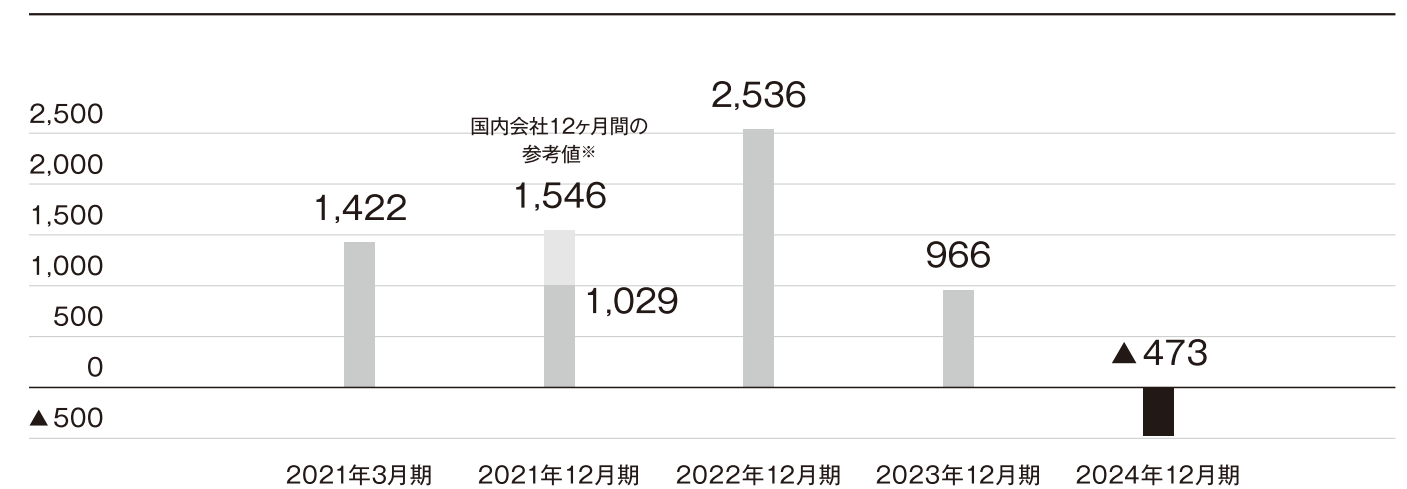
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)

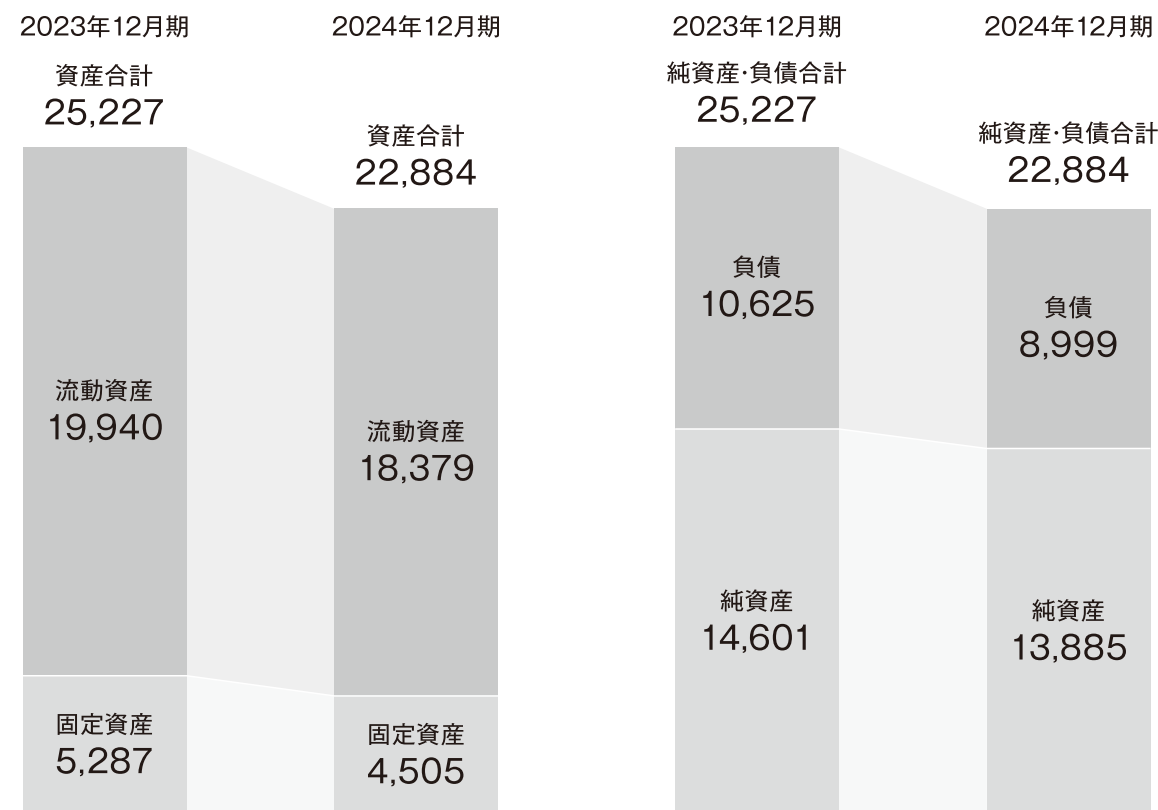


親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)

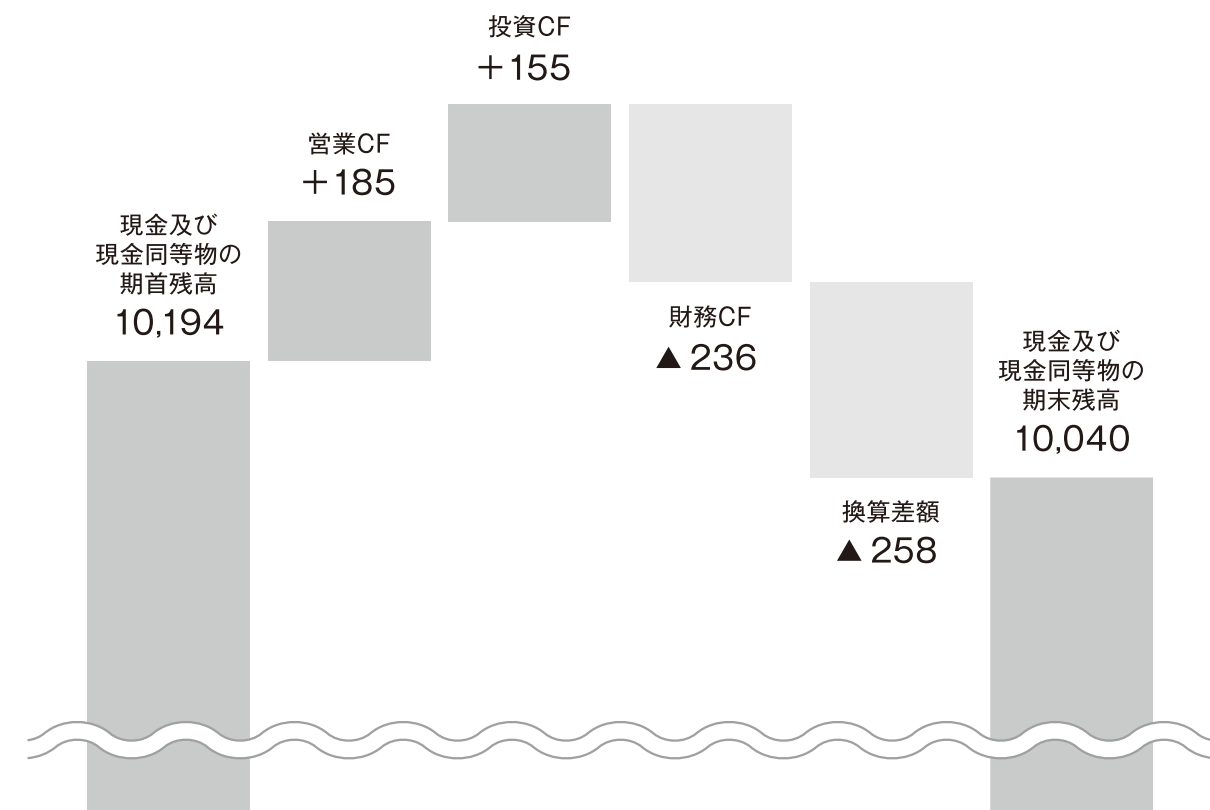


※ 2021年12月期は決算期の変更に伴い、国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間となります。本資料では当期との比較のため、2021年12月期に2021年1月~3月の国内子会社を加えた「2021年12月期(国内会社12ヶ月間)参考値」を記載しています。

貸借対照表 (単位:百万円)



キャッシュ・フローの概要 (単位:百万円)



2025年12月期 業績予想 (単位:百万円)

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2025年12月期業績予想	51,600	11,700	20	170	20
2024年12月期実績	54,615	12,684	166	503	▲473
増減率	▲5.5%	▲7.8%	▲88.0%	▲66.3%	—



Stock Information

株式情報

配当方針

2025年12月期以降の配当方針

事業の成長、並びに資本効率の改善等による、中長期的な企業価値の向上に努めると共に、継続的かつ安定的な配当を実施していくことを目標とし、2025年12月期から2027年12月期までの3ヶ年の配当については、原則としてDOE（株主資本配当率）2%以上を目安として実施する。
ただし、大きな業績の変動や大規模なM&A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。

2027年12月期までの3ヶ年
(2025年12月期~2027年12月期)の配当方針

第26期 2025年12月期	第27期 2026年12月期	第28期 2027年12月期
DOE (株主資本配当率) 2%以上を目安	DOE (株主資本配当率) 2%以上を目安	DOE (株主資本配当率) 2%以上を目安

株式状況 (2024年12月31日現在)

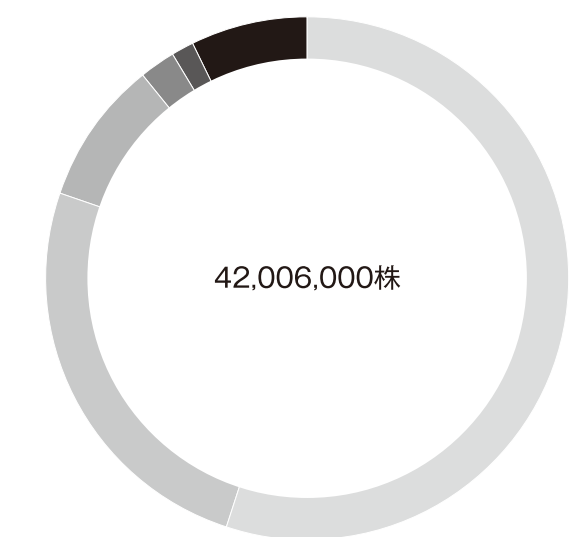
発行可能株式総数 153,150,000株
発行済株式の総数 42,006,000株
(自己株式2,923,880株を含む)
株主数 13,720名

大株主(上位10名)

株主名	保有株式数(株)	保有比率(%)
岡村陽久	8,149,300	20.85
伊藤忠商事株式会社	4,000,600	10.24
株式会社博報堂DYホールディングス	3,639,100	9.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,142,100	8.04
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	2,837,800	7.26
山田翔	2,045,800	5.23
西岡明彦	396,000	1.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	301,700	0.77
INTERACTIVE BROKERS LLC	195,500	0.50
松尾志郎	175,000	0.45

※自己株式を除く

株式の所有者別分布状況

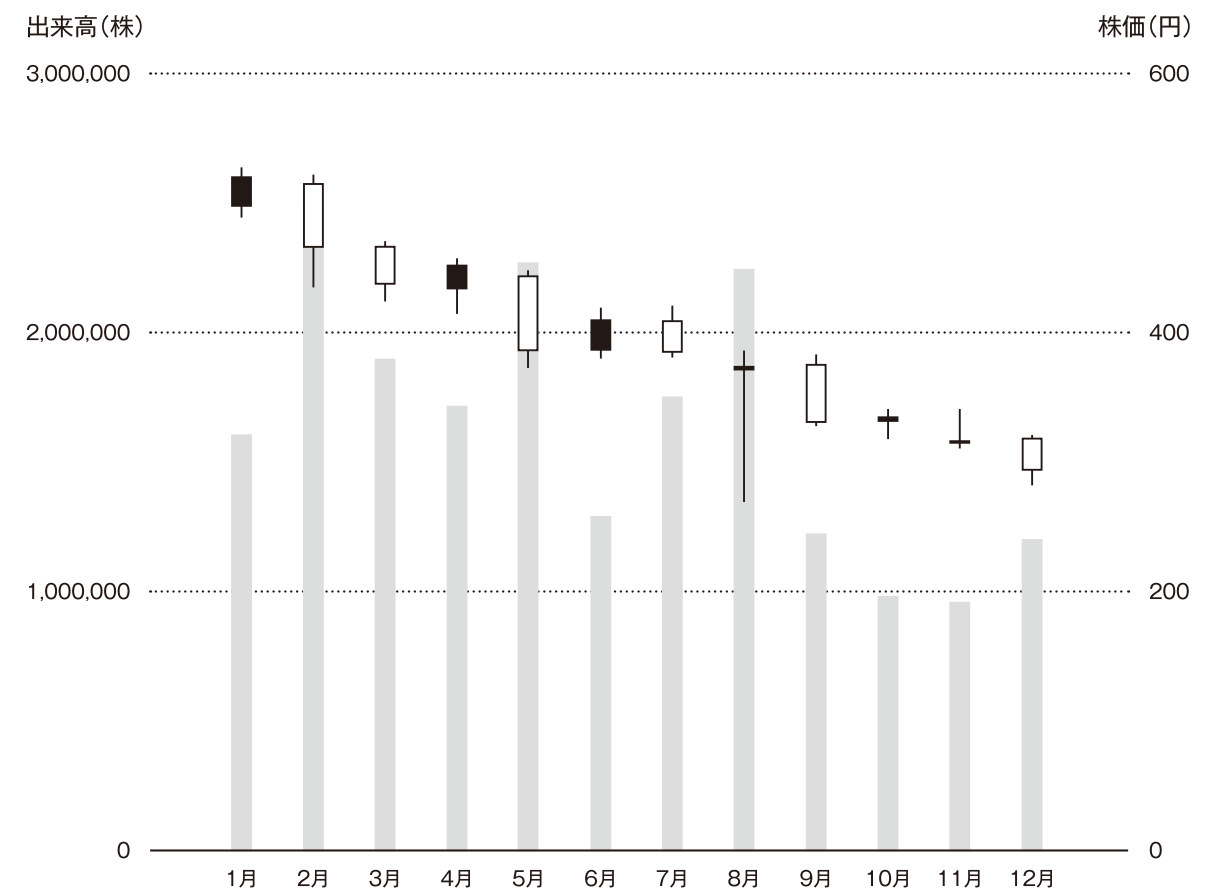


個人・その他	23,180,356株 (55.19%)
その他国内法人	10,648,201株 (25.35%)
金融機関	3,739,500株 (8.90%)
証券会社	916,852株 (2.18%)
外国法人等	597,211株 (1.42%)
自己株式	2,923,880株 (6.96%)

株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場(証券コード:2489)
決算日 12月31日(第22期から12月31日に変更)
定時株主総会 3月(第22期定時株主総会から3月に変更)
売買単位 100株
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
公告掲載方法 当社ホームページにおいて提供する。
ただし、やむを得ない事由により上記において提供できないときは、日本経済新聞に掲載する。

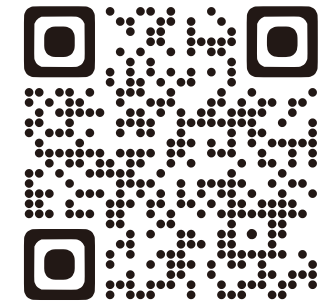
株価推移 (2024年1月~2024年12月)



Company Information

会社情報

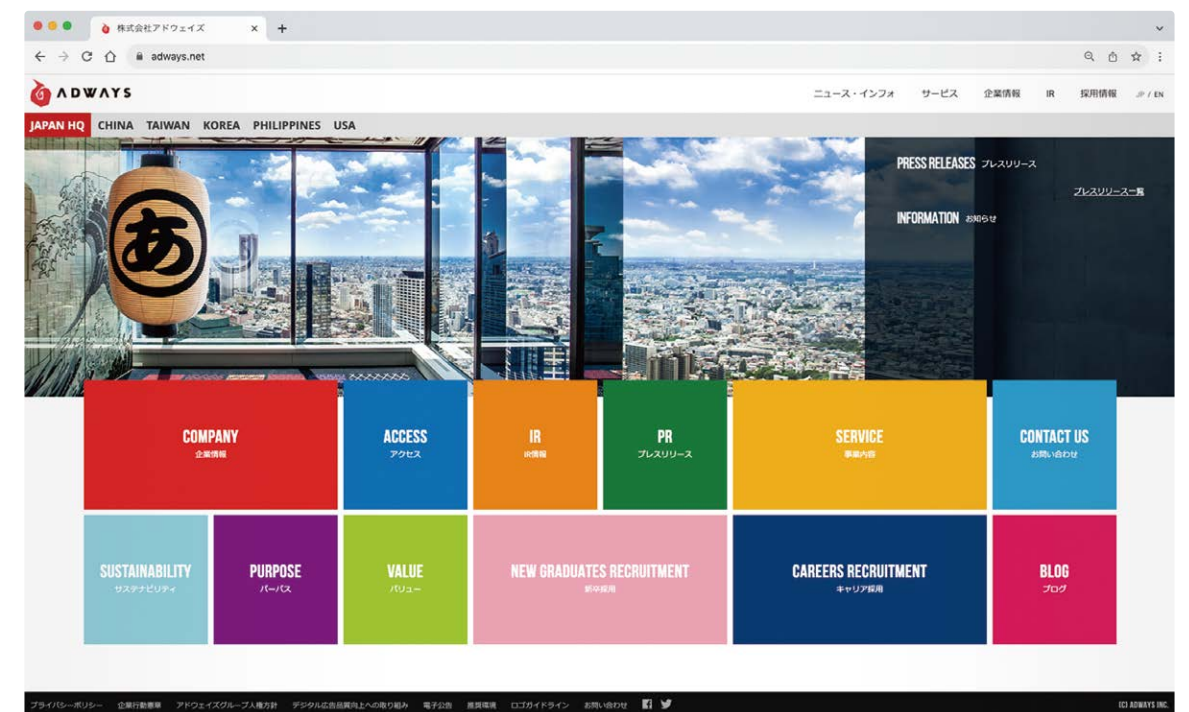
社名	株式会社アドウェイズ
本社所在地	〒160-0023 東京都新宿区西新宿五丁目一番一号 住友不動産新宿ファーストタワー5階 TEL.03-6771-8510(代表) / FAX.03-6771-8518
設立	2001年2月28日
資本金	1,717百万円(2024年12月31日現在)
従業員数	1,130名(2024年12月31日現在)
事業内容	インターネット広告事業・関連事業



ADWAYS
IR CHANNEL

役員 (2025年3月26日現在)

代表取締役社長	山田 翔
取締役会長	岡村 陽久
取締役	野田 順義
取締役	鹿野 晋吾
社外取締役	伊藤 浩孝
社外取締役	平田 和子
社外取締役	梅本 翔太
社外取締役	岡田 恵利子
常勤監査役	永久保 智宏
監査役	鶴川 正樹 (公認会計士)
監査役	角田 智美 (弁護士)
上席執行役員 管理担当	田中 庸一
上席執行役員 アドプラットフォーム事業担当	田村 鷹正
執行役員 インフルエンサー事業担当	西岡 明彦
執行役員 アドプラットフォーム担当	齋藤 弘樹
執行役員 コミュニケーションデザイン担当	遠藤 由依



当社ウェブサイトのご紹介
最新のニュースリリースやIR情報などを掲載しています。
ぜひご覧ください。

<https://www.adways.net/>